

資源株ファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアル・コース> (毎月分配型)

ファンドの概要

設定日 2009年11月20日  
 償還日 2019年6月17日  
 決算日 原則毎月17日  
 分配時期 決算日毎

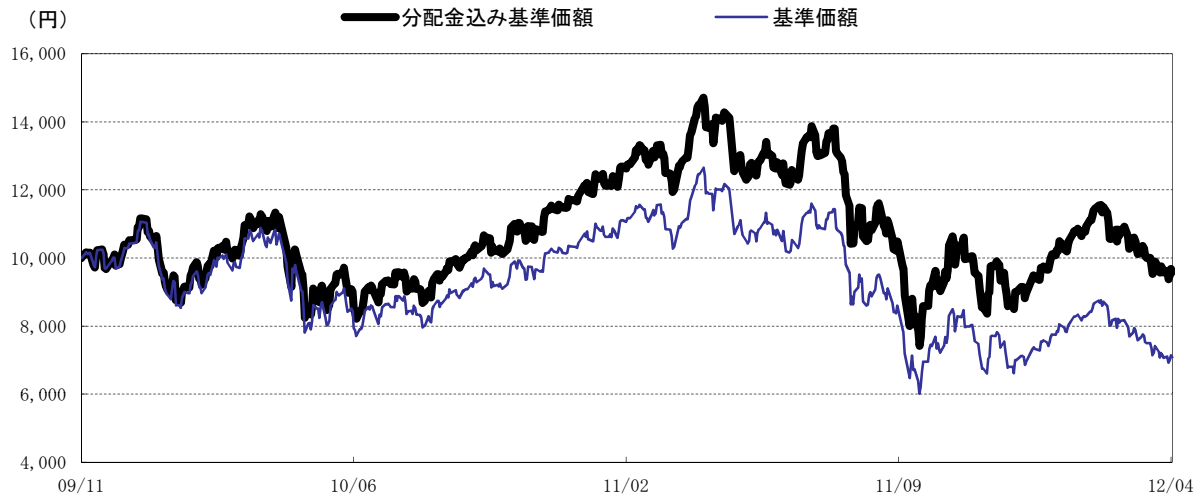
ファンドの特色

1. 主として世界の資源株に投資を行ない、中長期的な値上がり益の獲得をめざします。
2. 資源国通貨での実質的な運用により、為替ヘッジプレミアム（金利差相当額）などの享受が期待できます。
3. 毎月、安定した収益分配を行なうことをめざします。  
 ※「原則として、安定した分配を行なう」方針としていますが、これは、運用による収益が安定したものになることや基準価額が安定的に推移することなどを示唆するものではありません。また、基準価額の水準、運用の状況などによっては安定した分配とならない場合があることにご留意ください。

運用実績

※当レポートでは基準価額を1万口当たりで表示しています。  
 ※当レポートのグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。  
 ※当レポート中の各数値は四捨五入して表示している場合がありますので、それを用いて計算すると誤差が生じることがあります。

<基準価額の推移>



※分配金込み基準価額の推移は、分配金（税引前）を再投資したものを表示しています。  
 ※基準価額は、信託報酬（年率1.76%（税抜1.71%）程度）控除後の値です。信託報酬の詳細につきましては、後述の「手数料等の概要」をご覧ください。

基準価額 : 7,088円  
 純資産総額 : 364.79億円

<基準価額の騰落率>

1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
-5.16%	-6.11%	-9.75%	-32.77%	-	-4.05%

※基準価額の騰落率は、分配金（税引前）を再投資し計算しています。

<資産構成比率>

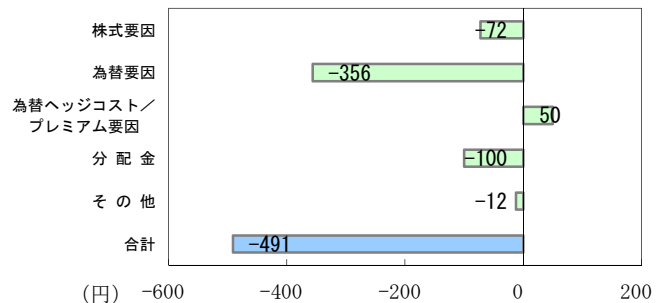
ナチュラル・リソース・ファンド ブラジルリアル・クラス	99.0%
マネー・アカウント・マザーファンド	0.1%
現金・その他	0.9%

<分配金実績(税引前・1万口当たり)>

設定来合計	直近12期計	11・5・17	11・6・17	11・7・19	11・8・17	11・9・20
2,760円	1,200円	100円	100円	100円	100円	100円
		11・10・17	11・11・17	11・12・19	12・1・17	12・2・17
		100円	100円	100円	100円	100円
		12・3・19	12・4・17			
		100円	100円			

※分配金額は収益分配方針に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。

<基準価額騰落の要因分解(月次ベース)>



※上記の要因分解は、概算値であり、実際の基準価額の変動を正確に説明するものではありません。傾向を知るための参考値としてご覧ください。

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

■当資料は、投資家の皆様に当ファンドへのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

## ナチュラル・リソース・ファンド ブラジルリアル・クラスのポートフォリオの内容

※日興アセットマネジメント アメリカズ・インクより提供された情報です。当外国投資信託の数値です。  
※比率は組入株式評価総額に対するものです。

## &lt;株式組入上位10銘柄&gt; (銘柄数：68銘柄)

	銘柄名	国名	業種	比率
1	Exxon Mobil Corp エクソンモービル	アメリカ	エネルギー	4.76%
2	BHP Billiton PLC BHPビルトン	イギリス	素材	4.46%
3	Potash Corp of Saskatchewan In ポタシュ・コーポレーション・オブ・サスカチワン	カナダ	素材	4.14%
4	Chevron Corp シェブロン	アメリカ	エネルギー	3.96%
5	Freeport-McMoRan Copper & Gold フリーポート・マクモラン・カッパー&ゴールド	アメリカ	素材	3.42%
6	Royal Dutch Shell PLC ロイヤル・ダッチ/シェル	イギリス	エネルギー	3.38%
7	Rio Tinto PLC リオ・ティント	イギリス	素材	3.30%
8	Monsanto Co モンサント	アメリカ	素材	2.52%
9	Occidental Petroleum Corp オキシデンタル・ペトロリアム	アメリカ	エネルギー	2.33%
10	Total SA トタル	フランス	エネルギー	2.27%

## &lt;業種比率&gt;

業種	比率
エネルギー	52.1%
素材	45.0%
農業・食料	1.9%

## &lt;株式組入上位5カ国&gt;

	国名	比率
1	アメリカ	53.6%
2	イギリス	18.0%
3	カナダ	14.9%
4	ブラジル	3.9%
5	中国	2.3%

## 参 考

## &lt;利回り&gt;

株式配当利回り (A)	2.20%
為替ヘッジプレミアム/コスト (B)	8.46%
米ドル短期金利	(0.24%)
ブラジルリアル短期金利	(8.70%)
(A)+(B)	10.66%

## &lt;為替推移 円/ブラジルリアル&gt;



投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

■当資料は、投資家の皆様に当ファンドへのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

## 運用コメント

## ◎当月の市場動向

4月の世界の株式市場は、下旬にかけて米国市場は持ち直しましたが、欧州景気の減速懸念や欧州債務問題の不透明感などを背景に、欧州市場は軟調となりました。

コモディティ市況は強弱感が交錯しました。ガソリン、砂糖、綿花などが軟調だったことに加えて、産業用金属、貴金属の一部でも価格が下落した一方、明るい注目点としては、大豆、ココアなどの価格上昇に加えて、これまで低迷していた天然ガス価格に底打ち感が台頭したことが挙げられます。

IMF（国際通貨基金）によると、世界の穀物の在庫は過去40年間の平均を依然として大幅に下回っています。こうした状況にもかかわらず、米国の土壌状態と天候条件によって作付面積が5年平均を大きく上回っていることなどを背景に、トウモロコシ価格は4月の大部分において下げました。

原油価格については、米国の堅調な経済指標や米国ドル安などを背景に、値上がりしました。他方、天然ガス市況は4月下旬から持ち直しに転じましたが、豊富な供給量に加えて米国の記録的暖冬を受けて住宅向け需要は引き続き抑制されており、いまだに2011年の水準を大きく割り込んでいます。2011年後半以降、天然ガス専用の掘削装置数は着実に減少していますが、天然ガス専用の掘削装置数の減少による天然ガス供給の減少は、原油とガス両方を生産する非在来型ガス油田からの天然ガス生産により相殺されている状況にあります。

総じて供給が逼迫している金属については、銅価格が世界のマクロ経済の不透明感を嫌気しました。銅業界は、探査の成功が限られていること、コスト高、そしてこれまでよりも技術面で難題の多いプロジェクトといった苦戦が続いているため、銅の新規供給は引き続き多くの観測筋の失望を呼びました。

ブラジルレアルは、中央銀行が市場予想を上回る政策金利の引き下げを実施したことやさらなる利下げ観測などから、対円で下落しました。

## ◎運用概況

株式、為替ともにマイナスの寄与となり、ファンドの基準価額は値下がりしました。

主な投資行動としては、このところの株価の下落と魅力的なバリュエーション（株価指標）を理由に、米国の石油・ガスサービス銘柄の投資比率を引き上げました。現在、価格引き下げ圧力に見舞われている米国の圧力ポンプ市場の投資家の懸念の高まりに起因する当該銘柄の株価下落は、ポンプ事業の比率が限定的であり、同社の業績への影響はわずかにとどまる見込みという事実を無視した格好となっています。それに加えて、同社は引き続き堅調な需要と価格決定力を有しているポンプ事業以外の複数の事業部門を有しており、これは圧力ポンプの低迷を吸収するに十分な役割を果たすと考えています。

また、一部の農業関連銘柄の投資比率を引き下げました。米農務省が最近発表した報告では、トウモロコシの収穫量は予想を上回るとの予測が示されました。収穫量について、軟調だった2011年以後に健全な状況になればトウモロコシの在庫増加につながりかねず、これによりトウモロコシの価格に強い圧力がかかり、翌シーズンの肥料需要が抑制されると考えているためです。

## ◎今後の運用方針

資源会社については、足元で発表された強弱感が交錯する一連のマクロ経済指標にもかかわらず見通しは依然として明るいと考えています。中国からの需要は堅調と考えられ、米国経済が目先、マイナス成長に陥る恐れがないとの見方を踏まえると、世界の資源需要は底堅さを保つものと予想しています。また、金鉱会社の株式は、バリュエーション（株価指標）面で投資妙味があると判断しています。それに加えて、これらの銘柄は、設備投資について自己資金で賄う能力を有しているほか、増配の可能性もあるため、これらの銘柄の組入れを引き上げることを検討します。

一方、一部の肥料銘柄については、現時点での堅調な需要環境に起因する株高を活かして利益確定のための売却を行うことも検討します。

**投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。**

■当資料は、投資家の皆様に当ファンドへのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

## ■お申込みメモ

商品分類	追加型投信／内外／株式
お申込単位	お申込単位につきましては、販売会社または委託会社の照会先にお問い合わせください。
お申込価額	お申込受付日の翌営業日の基準価額
お申込不可日	取得申込日がニューヨーク証券取引所の休業日またはニューヨークの銀行休業日に当たる場合は、取得のお申込みの受付（スイッチングを含みます。）は行ないません。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
信託期間	2019年6月17日まで（2009年11月20日設定）
決算日	毎月17日（休業日の場合は翌営業日）
収益分配	毎決算時に、分配金額は、委託会社が決定するものとし、原則として、安定した分配を継続的にこなうことをめざします。 ※将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。 ※「原則として、安定した分配を行なう」方針としていますが、これは、運用による収益が安定したものになることや基準価額が安定的に推移することなどを示唆するものではありません。また、基準価額の水準、運用の状況などによっては安定した分配とならない場合があることにご留意ください。
ご換金価額	換金請求受付日の翌営業日の基準価額
ご換金不可日	換金請求日がニューヨーク証券取引所の休業日またはニューヨークの銀行休業日に当たる場合は、換金請求の受付（スイッチングを含みます。）は行ないません。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
ご換金代金のお支払い	原則として、換金請求受付日から起算して7営業日目からお支払いします。
課税関係	原則として、分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の差益は課税の対象となります。 ※課税上は、株式投資信託として取り扱われます。 ※詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

## ■手数料等の概要

お客様には、以下の費用をご負担いただきます。	
<お申込時、ご換金時に直接ご負担いただく費用>	
お申込手数料	お申込手数料率（スイッチングの際のスイッチング手数料を含みます。）は、 <u>3.675%（税抜3.5%）</u> を上限として販売会社が定める率とします。 ※分配金再投資コースの場合、収益分配金の再投資により取得する口数については、お申込手数料はかかりません。
換金手数料	ありません。
信託財産留保額	ありません。
信託報酬	信託財産で間接的にご負担いただく（ファンドから支払われる）費用 純資産総額に対して年率1.76%（税抜1.71%）程度を乗じて得た額が実質的な信託報酬となります。信託報酬率の内訳は、当ファンドの信託報酬率が年率1.05%（税抜1%）、投資対象とする投資信託証券の組入れに係る信託報酬率が年率0.71%程度となります。受益者が実質的に負担する信託報酬率（年率）は、投資対象とする投資信託証券の組入比率や運用内容の変更などにより変動します。詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。
その他費用	目論見書などの作成・交付にかかる費用および監査費用などについては、ファンドの日々の純資産総額に対して年率0.1%以内を乗じて得た額が信託財産から支払われます。 組入る有価証券の売買委託手数料、借入金の利息および立替金の利息などについては、その都度、信託財産から支払われます。 ※組入る有価証券の売買委託手数料などは、運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを示すことはできません。
※当ファンドの手数料などの合計額については、投資家の皆様はファンドを保有される期間などに応じて異なりますので、表示することができません。	
※詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。	

## ■委託会社、その他関係法人

委託会社	日興アセットマネジメント株式会社
受託会社	三井住友信託銀行株式会社（再信託受託会社：日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社）
販売会社	販売会社については下記にお問い合わせください。 日興アセットマネジメント株式会社 〔ホームページ〕 <a href="http://www.nikkoam.com/">http://www.nikkoam.com/</a> 〔コールセンター〕 0120-25-1404（午前9時～午後5時。土、日、祝・休日は除く。）

## ■お申込みに際しての留意事項

## ○リスク情報

- ・投資者の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者（受益者）の皆様に帰属します。なお、当ファンドは預貯金とは異なります。
- ・当ファンドは、主に株式（預託証券を含みます。以下同じ。）を実質的な投資対象としますので、株式の価格の下落や、株式の発行体の財務状況や業績の悪化などの影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資する場合には、為替の変動により損失を被ることがあります。

投資対象とする投資信託証券の主なリスクは以下の通りです。

## 価格変動リスク

- ・株式の価格は、会社の成長性や収益性の企業情報および当該情報の変化に影響を受けて変動します。また、国内および海外の経済・政治情勢などの影響を受けて変動します。ファンドにおいては、株式の価格変動または流動性の予想外の変動があった場合、重大な損失が生じるリスクがあります。
- ・新興国の株式は、先進国の株式に比べて価格変動が大きくなる傾向があり、基準価額にも大きな影響を与える場合があります。
- ・公社債は、金利変動により価格が変動するリスクがあります。一般に金利が上昇した場合には価格は下落し、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。ただし、その価格変動幅は、残存期間やクーポンレートなどの発行条件などにより債券ごとに異なります。

**流動性リスク**

- ・市場規模や取引量が少ない状況においては、有価証券の取得、売却時の売買価格は取引量の大きさに影響を受け、市場実勢から期待できる価格どおりに取引できないリスク、評価価格どおりに売却できないリスク、あるいは、価格の高低に関わらず取引量が限られてしまうリスクがあり、その結果、不測の損失を被るリスクがあります。
- ・新興国の株式は、先進国の株式に比べて市場規模や取引量が少ないため、流動性リスクが高まる場合があります。

**信用リスク**

- ・投資した企業の経営などに直接・間接を問わず重大な危機が生じた場合には、ファンドにも重大な損失が生じるリスクがあります。デフォルト（債務不履行）や企業倒産の懸念から、発行体の株式などの価格は大きく下落（価格がゼロになることもあります。）し、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。
- ・一般に公社債および短期金融資産の発行体にデフォルト（債務不履行）が生じた場合またはそれが予想される場合には、公社債および短期金融資産の価格が下落（価格がゼロになることもあります。）し、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。また、実際にデフォルトが生じた場合、投資した資金が回収できないリスクが高い確率で発生します。

**為替変動リスク****◆ブラジルリアル・コース**

- ・投資対象とする外国投資信託の組入資産については、原則として米ドル売り、ブラジルリアル買いの為替ヘッジを行なうため、ブラジルリアルの対円での為替変動の影響を受けます。一般に外国為替相場がブラジルリアルに対して円高になった場合には、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。なお、為替ヘッジを完全に行なうことができるとは限らないため、場合によってはブラジルリアルと米ドルの2通貨間の金利差を十分に享受することができない可能性や、米ドルの対円での為替変動の影響を受ける可能性があります。また、ブラジルリアルの金利が米ドル金利より低い場合、米ドルとブラジルリアルの金利差相当分のヘッジコストが発生します。
- ・投資対象とする外国投資信託の組入資産であるADRの値動きは、当該企業の株式の価格変動に加えて、当該株式の発行国通貨の米ドルに対する為替変動の影響を受けます。
- ・一般に新興国の通貨は、先進国の通貨に比べて為替変動が大きくなる場合があります。

**◆南アフリカランド・コース**

- ・投資対象とする外国投資信託の組入資産については、原則として米ドル売り、南アフリカランド買いの為替ヘッジを行なうため、南アフリカランドの対円での為替変動の影響を受けます。一般に外国為替相場が南アフリカランドに対して円高になった場合には、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。なお、為替ヘッジを完全に行なうことができるとは限らないため、場合によっては南アフリカランドと米ドルの2通貨間の金利差を十分に享受することができない可能性や、米ドルの対円での為替変動の影響を受ける可能性があります。また、南アフリカランドの金利が米ドル金利より低い場合、米ドルと南アフリカランドの金利差相当分のヘッジコストが発生します。
- ・投資対象とする外国投資信託の組入資産であるADRの値動きは、当該企業の株式の価格変動に加えて、当該株式の発行国通貨の米ドルに対する為替変動の影響を受けます。
- ・一般に新興国の通貨は、先進国の通貨に比べて為替変動が大きくなる場合があります。

**◆オーストラリアドル・コース**

- ・投資対象とする外国投資信託の組入資産については、原則として米ドル売り、オーストラリアドル買いの為替ヘッジを行なうため、オーストラリアドルの対円での為替変動の影響を受けます。一般に外国為替相場がオーストラリアドルに対して円高になった場合には、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。なお、為替ヘッジを完全に行なうことができるとは限らないため、場合によってはオーストラリアドルと米ドルの2通貨間の金利差を十分に享受することができない可能性や、米ドルの対円での為替変動の影響を受ける可能性があります。また、オーストラリアドルの金利が米ドル金利より低い場合、米ドルとオーストラリアドルの金利差相当分のヘッジコストが発生します。
- ・投資対象とする外国投資信託の組入資産であるADRの値動きは、当該企業の株式の価格変動に加えて、当該株式の発行国通貨の米ドルに対する為替変動の影響を受けます。

## カントリー・リスク

- ・投資対象国における非常事態など（金融危機、財政上の理由による国自体のデフォルト、重大な政策変更や資産凍結を含む規制の導入、自然災害、クーデターや重大な政治体制の変更、戦争など）を含む市況動向や資金動向などによっては、ファンドにおいて重大な損失が生じるリスクがあり、投資方針に従った運用ができない場合があります。
- ・一般に新興国は、情報の開示などが先進国に比べて充分でない、あるいは正確な情報の入手が遅延する場合があります。

※ファンドが投資対象とする投資信託証券は、これらの影響を受けて価格が変動しますので、ファンド自身にもこれらのリスクがあります。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

## ○その他の留意事項

- ・当資料は、投資家の皆様に「資源株ファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアル・コース><南アフリカランド・コース><オーストラリアドル・コース>（毎月分配型）」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。
- ・投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。
- ・投資信託の運用による損益は、すべて受益者の皆様に帰属します。当ファンドをお申込みの際には、投資信託説明書（交付目論見書）などを販売会社よりお渡ししますので、内容を必ずご確認くださいのうえ、お客様ご自身でご判断ください。

設定・運用は 日興アセットマネジメント株式会社  
 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第368号  
 加入協会：社団法人投資信託協会  
 社団法人日本証券投資顧問業協会

## お申込みは

金融商品取引業者等の名称	登録番号	加入協会				
		日本証券業協会	社団法人日本証券投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会	
野村證券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第142号	○	○	○	○
三井住友信託銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長（登金）第649号	○	○	○	